学校番号	3037

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　新地理総合」（帝国書院）・「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新詳地理資料　COMPLETE　2026」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校地理では，「地」球上でみられるあらゆる事象の「理（ことわり）」を学びます。地形や気候，農林水産業，鉱工業，人口，都市，民族，生活文化にいたるまで，高校地理で扱う分野は広範にわたりますが，それぞれの分野における様々な事象には必ず「なぜそうなるのか」という理由が存在しています。普段から地理的な見方で社会を眺めることを意識し，講義や実習を通じて地理的な考え方を修得することによって，世の中を深く洞察する力が身に付きます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地理に関する基礎的な知識を体系的に習得し、地図や統計資料を適切に活用して地域特性や地理的現象を的確に理解できる能力を身につける。また、地域間の相互関係や環境変化の実態について、具体的な事例に基づいて分析し、説明できる力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
生徒は、地理的課題に対して論理的かつ多角的に思考し、与えられた資料を分析して自らの見解を導き出す判断力を養う。さらに、その結論を明確かつ論理的に表現し、学問的な議論を通じて他者との意見交換を行う能力を養成する。
【学びに向かう力、人間性等】
地理学を通じて持続可能な社会の実現や地球環境保護に関する意識を深め、自発的かつ継続的に学びを追求する態度を育む。また、地域や文化の多様性を尊重し、社会的な課題に対する関心を高め、他者との協働を通じて社会貢献への意欲を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図と地理情報システム	・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類	a: 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 b: 図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	結び付きを深める現代世界	・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	a: 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 b: 現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現する。 c: 現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート

2学期	生活文化の多様性	・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の言語・宗教と人々の生活 ・歴史的背景と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活	a: 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 b: 現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現する。 c: 現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	地球的課題と国際協力	・複雑に絡み合う地球的課題 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題	a: 世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 b: 世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c: 地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート

3学期	自然環境と防災	・日本の自然環境 ・地震・津波と防災 ・火山災害と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え	a: 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付ける。 b: 地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c: 自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	生活圏の調査と地域の展望	・生活圏の調査と地域の展望	a: 生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 b: 生活圏の地理的な課題について，生活圏内や生活圏外との結び付き，地域の成り立ちや変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 c: 生活圏の調査と地域の展望について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度